

摺動用PEKKコンパウンド材料 (LUVOCOM 1114)

LUVOCOM 1114 コンパウンドシリーズは、PEKK(ポリエーテルケトンケトン)をベース樹脂とした摺動用コンパウンド樹脂材料です。

PEKKは、芳香族ポリエーテルケトン的一种です。

産業用途で広く使われているPEEK樹脂よりもさらにガラス転移点が高く、高温領域での摺動性に優れている樹脂です。PEKK樹脂は、樹脂単体でも優れた耐摩耗性を示します。



このPEKK樹脂をベースとした、摺動用コンパウンド材料を開発しました。

PEEK樹脂をベースとした摺動用コンパウンド材料と比較すると、同じフィラー配合のPEKKベース材料は、より優れた耐摩耗性を示します。異なる試験条件、異なる相手材でも同様の傾向を示し、さらに高温時の耐摩耗性は非常に優れています。



TRIBOLOGICAL



STRUCTURAL

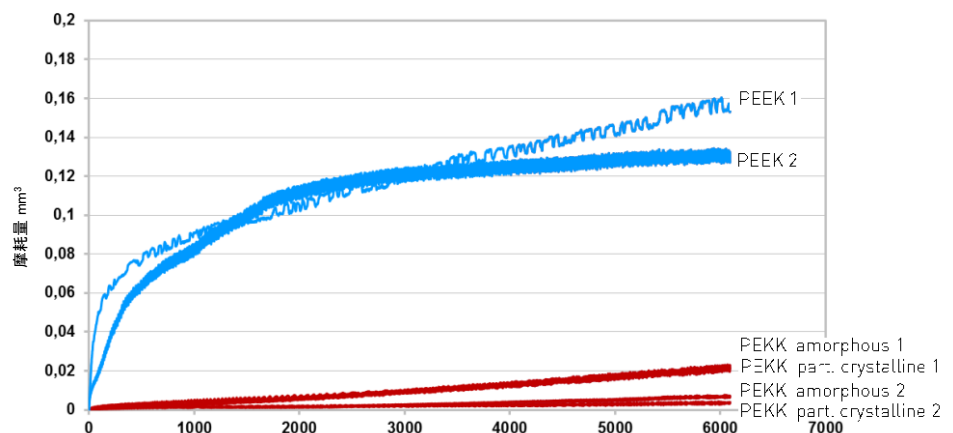


RESISTANT

特長

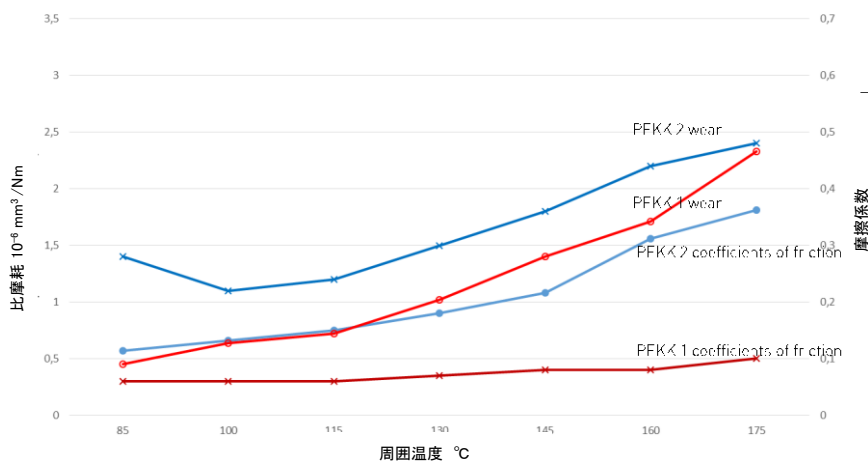
- 摩擦摩耗特性
- 高温時でも安定した摩擦係数
- 高温時でも摩耗しにくい
- PEEKよりも優れた耐熱性
($T_g = 165^\circ\text{C}$)
- コンパウンド処方カスタマイズ可能

PEEKとPEKK、各コンパウンド材の摩耗特性比較



処方1: 炭素繊維 / 潤滑フィラー / ナノ添加剤
 処方2: 炭素繊維10%、グラファイト10%、PTFE10%
 試験方法: Sphere on prism tribometer 試験、28mm/s、30N、乾燥状態、相手材100Cr6

PEKKコンパウンド材の高温下での摩耗特性



Block on Ring tribometer 試験、1m/s、5MPa、乾燥状態、相手材100Cr6

* 上記数値は代表値であり、その完全性・正確性を保証するものではありません。